

2020 年 5 月 29 日

大企業に眠る有望な新規ビジネスアイデアを素早く事業化する 株式会社 BeeEdge（ビーエッジ）への追加出資について

- ・大企業の社内に眠るビジネスアイデアをオープンイノベーションで事業化
- ・設立後、傘下に 3 事業会社を設立し、いずれも順調に事業を進捗
- ・他の大企業にも成功事例として波及することで、日本における企業全体の活性化を期待

株式会社 INCJ（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：勝又幹英、以下「INCJ」）は、株式会社 BeeEdge（本社：東京都港区、代表取締役社長：春田真、以下「BeeEdge」）に対し、同社の事業展開を推進するための資金として、新たに 6.17 億円を追加出資します。INCJ は、BeeEdge に対し 10 億円を上限とする出資を決定し、2018 年 11 月に段階的な投資の初回投資として、3.83 億円を出資しています。今回の追加出資は、BeeEdge の事業が順調に推移していることから、支援枠の残りを出資するもので、新たな技術シーズの事業化を含めた成長資金に供されます。

BeeEdge は、新規ビジネスの創出促進を目的に、2018 年 3 月、シリコンバレーと東京を拠点とする VC の Scrum Ventures（スクラムベンチャーズ）とパナソニック株式会社（パナソニック）の出資により設立された合併会社です。具体的には、パナソニックの社内カンパニーで家電事業等を担当するアプライアンス社において、有望ではありながら事業規模など様々な理由から事業化に至らなかったアイデアを BeeEdge に切り出すことにより、スピード感を持って事業化につなげます。

BeeEdge は、既にアプライアンス社から 3 つの事業を切り出し、事業会社を設立しています。

●ミツバチプロダクツ株式会社 <https://mitsubachiproducts.com/>

設立年月日：2018 年 9 月 10 日

代表：代表取締役社長 浦 はつみ

事業内容：スチームブレンダー機構を搭載したチョコレート
ドリンクマシンの開発、製造、販売



●ギフモ株式会社 <https://gifmo.co.jp/>

設立年月日：2019 年 4 月 5 日

代表：代表取締役社長 森 實 将

事業内容：嚥下調整食調理機器の企画・製造および販売



●ことほ株式会社

設立年月日：2019 年 6 月 21 日

代表：代表取締役社長 四宮 葉一

事業内容：歩行訓練用リハビリテーションマシンの開発、製造、販売

一般的に大企業では、社内に有望な新規のビジネスアイデアがありながら、社内に引き受ける部署がない、事業規模が一定の大きさに満たない、ブランド要件を満たさないなど、様々な理由で事業化に至らず、眠ったままの状態にあるケースが見受けられます。BeeEdge では、このような事業シーズやアイデアを従来の枠組みにとらわれない環境下で素早く事業化することを目指しており、有望案件については事業会社を設立し、事業化ステージごとに、その都度、適切な投資・支援を行っていきます。

INCJ としては、BeeEdge の取り組みは、このような大企業内の閉塞感を打破するものであり、他国に比べて圧倒的に起業率の低い我が国における新しい起業の在り方、また新規事業創出のモデルケースにもなり得ると判断し出資を決定しました。その後、BeeEdge は、3 つの事業会社を立ち上げ順調に事業が進捗していることから、今回、追加の出資を行うこととしました。INCJ は、この取り組みが成功事例となり、他の大企業にも展開されることを期待し、資金支援だけでなく、BeeEdge の事業運営や INCJ ポートフォリオとの連携、中立性によるオープンイノベーションの推進等にも寄与していきます。

株式会社 BeeEdge について

設 立：2018 年 3 月

本 社：東京都港区

代表者：春田 真

事業内容：大企業発スタートアップに対する投資・事業化支援

URL：<http://beeedge.com/>

株式会社 INCJ について

株式会社 INCJ は、2018 年 9 月、既存の官民ファンドである株式会社産業革新機構から新設分割する形で発足しました。産業革新機構は、2009 年 7 月、産業や組織の壁を越えて、オープンイノベーションにより次世代の国富を担う産業を育成・創出することを目的に設立されましたが、根拠法である産業競争力強化法の改正法の施行に伴い、同機構は株式会社産業革新投資機構に商号変更し、新たな活動を開始しました。株式会社 INCJ は、産業革新機構の事業を引き継ぐ形で、既

投資先の Value up 活動や追加投資、マイルストーン投資、EXIT に向けた活動を主要業務として、
2025 年 3 月末まで投資活動を行っていきます。

URL : <http://www.incj.co.jp/>

以上

<本発表資料のお問い合わせ先>

株式会社 産業革新投資機構 経営企画室 広報 入江、坂井
東京都千代田区丸の内 1－4－1 丸の内永楽ビルディング 2 1 階
電 話 : 03-5218-7202

【別紙】

追加支援決定案件の概要

1. 対象事業者

- ・ 事業者名 : 株式会社 BeeEdge
- ・ 設立 : 2018 年 3 月
- ・ 所在地 : 東京都港区
- ・ 代表者 : 春田 真
- ・ 事業内容 : 大企業発スタートアップに対する投資・事業化支援

2. 支援決定内容

- ・ 支援決定金額 : 10 億円 (上限) : 2018 年 11 月に公表済み
- ・ 実投資額 : 6.17 億円
(2018 年 11 月に段階的な投資の初回投資として、3.83 億円を出資済み)
- ・ 共同投資家 : Scrum Ventures LLC、パナソニック株式会社
- ・ 株式保有割合 (議決権ベース) : INCJ (33.8%)、Scrum Ventures (33.8%)、パナソニック (32.4%)
- ・ これまでの支援決定内容

支援決定金額 10 億円 (上限)、実投資額 3.83 億円

支援決定公表日 2018 年 11 月 1 日

https://www.incj.co.jp/newsroom/PressRelease_INCJ_BeeEdge_20181101.pdf

3. 投資意義

＜社会ニーズへの対応＞

- ・ 大企業に眠るシーズをオープンイノベーションを通じて事業化する試みであり、日本の大企業によるイノベーション・新規事業創出の一つのモデルケースとなり得る。
- ・ 米国を始めとする他国に比べて、圧倒的に起業率の低い我が国において、この取り組みは大企業に居ながら起業できる仕組みであり、日本的起業の在り方の一つのモデルとなり得る。

＜成長性＞

- ・ 社内に眠る事業シーズを投資先企業を通じて新規事業として立ち上げることで、新たな付加価値の創出が見込まれる。

＜革新性＞

- ・ これまで、革新性がありながら様々な理由で事業化できなかったシーズが事業化されることで、社会的にインパクトのある本取り組みが成功事例となり、他の大企業への展開が期待される。
- ・ 革新的な新製品・新サービスが連続的に創出される可能性。